

とちぎ市議会だより

第60号(12月定例会)
2024.2.20発行

栃木県誕生150年記念 栃木市中学生議会 開催



特集

広報委員会活動報告 …………… 12

議会報告会 (意見交換会) …………… 13

中学生議会を開催しました …… 14～15

財産の貸付けについて …………… 2

(12月定例会で決まったこと)

表紙写真の説明 …………… 3

15人の議員が市政を質す …………… 4～11

(一般質問)

12月定例会で決まったこと(主な議案等)

12月定例会で審査した主な議案等についてお知らせします。各議案の詳細については、市議会ホームページの議案書をご覧ください。下記のQRコードをご利用になると、簡単にアクセスできます。



市庁舎の一部を商業施設として貸し付け

議案第105号
財産の貸付けについて

可決 賛成 22
反対 3

議案の概要

市庁舎1階の一部を商業施設として貸し付けることについて議会の議決を求めるもの。

主な質疑応答

質 市庁舎屋上の広告塔貸し付けの取り扱いは

答 屋上広告塔については、1階の商業施設の貸し付けと同様の平米単価および期間で契約をしている。

質 市庁舎屋上の広告塔の使用料は

答 月額3万213円、年額で36万2556円である。



平井川排水施設整備工事

議案第106号 工事請負契約の締結について(平井川排水施設整備工事)

可決 賛成 24
反対 1

議案の概要

平井川排水施設整備工事に関し、工事請負契約を締結することについて議会の議決を求めるもの。

主な質疑応答

質 入札参加資格を持つ事業者数は

答 本工事は入札参加形態を構成員が2者の特定建設工事共同企業体としており、資格要件に該当する業者が36者あるため、最大8つの特定建設工事共同企業体を結成することができると見込んでいた。

質 入札結果は

答 2者から入札があったが、そのうち1者が無効となったため1企業体の参加となった。

討論(議案第96号)

反対(白石議員)

議員の期末手当は人事院勧告に準じて機械的に引き上げるべき性格のものではなく、議員報酬の一部として審議会や市民の意見を聞いて決定すべきである。

賛成(市村議員)

本件は人事院勧告に準じるものであり、期末手当を引き上げる場合だけでなく、引き下げる場合においても勧告を尊重し条例改正をしてきた経緯を踏まえ賛成する。

討論(陳情第3号)

不採択(針谷正夫議員)

マイナ保険証は私たちの生活に大きなメリットを与えるものであり、国民皆保険制度をより良いものとするためにも必要なものであると考える。

採択(白石議員)

保険証は国民皆保険の根幹であり、世論調査でも多くの国民が来年秋の廃止を望んでいないため、国民・市民の立場に立ち意見書を国に提出すべきである。

採択(針谷育造議員)

マイナンバーやマイナ保険証の取得強制が本来に市民のためになっているのかを真剣に考えなければならず、本陳情は採択すべきである。

令和6年能登半島地震を受けて

このたびの令和6年能登半島地震により、犠牲となられた方々に対し、深く哀悼の意を表するとともに、被災された多くの皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

本市は、平成27年9月の関東・東北豪雨と令和元年10月の東日本台風という2度の水害により、多くの方が被災され、現在も河川の改修が行われる等、道半ばではありますが、市内外からのご協力をいただきながら、市民一丸となり多くの困難を乗り越えてまいりました。

これらの自然災害の経験を踏まえ、市議会では甚大な被害を受けられました北信越地域への支援として、些少ではありますが、義援金を北信越市議会議長会へ拠出させていただきました。

今後も、被災地の一日も早い復旧・復興を願い、市当局と連携し、必要となるさまざまな支援に努めてまいります。

本会議の表決前に、他の議員の賛同を得るために、討論が行われた議案番号等と発言した議員名は次のとおりです。(○=賛成 ●=反対)

- 議案第 89 号 ●白石 幹男 議員 ●内海 まさかず 議員
- 議案第 96 号 ●白石 幹男 議員 ○市村 隆 議員
- 議案第105号 ●内海 まさかず 議員
- 議案第106号 ●白石 幹男 議員 ○大谷 好一 議員
- 議案第120号 ●内海 まさかず 議員
- 陳情第 3 号 ●針谷 正夫 議員 ○白石 幹男 議員 ○針谷 育造 議員

議案等の審議結果

12月定例会では、議案41件、陳情3件が審査されました。
賛否が分かれた議案等の各議員の賛否は以下のとおりです。

賛成：○ 反対：● 欠席：—

番号	件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
			川田 俊介 真政クラブ	小太刀孝之 創政会	市村 隆 真政クラブ	雨宮 茂樹 公明党議員会	森戸 雅孝 真政クラブ	浅野 貴之 かがやき	小平 啓佑 自民未来	大浦 兼政 自民未来	針谷 育造 創志会	古沢ちい子 公明党議員会	大谷 好一 自民未来	坂東 一敏 かがやき	内海まさかず 創志会	小久保かおる 公明党議員会	青木 一男 自民未来	松本 喜一 自民未来	梅澤 米満 真政クラブ	天谷 浩明 無党派	針谷 正夫 かがやき	広瀬 義明 自民未来	氏家 晃 自民未来	福富 善明 真政クラブ	福田 裕司 創政会	中島 克訓 無党派	大阿久岩人 真政クラブ	小堀 良江 真政クラブ	白石 幹男 無党派	関口孫一郎 自民未来
議案第89号	令和5年度 栃木市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	—	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第96号	栃木市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第105号	財産の貸付けについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第106号	工事請負契約の締結について(平井川排水施設整備工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第120号	指定管理者の指定について(栃木市岩舟農村環境改善センター)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第3号	健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付することを求める陳情書	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	—	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	

※その他の議案38件は全会一致で可決されました。



表紙の写真

栃木県誕生150年記念 栃木市中中学生議会 開催

栃木県誕生150年を記念して、12月23日に「中学生議会」を開会しました。市内の公立・私立中学校から14人の生徒が中学生議員として、各自テーマを決め一般質問に登壇し、市執行部に対し質問を行いました。

市議会本会議さながらの白熱した議論が展開された後、中学生議員の意見をまとめた「中学生議会宣言」を市長へ提出し閉会となりました。

今回参加いただいた中学生議員をはじめとした多くの若者や市民の方に、より関心を持って頂けるよう今後とも真摯に議会活動を行ってまいります。

※詳しくは、14・15ページをご覧ください。

(表紙撮影：小太刀・市村委員)





大谷 好一 議員
自民未来

児童の登下校時の安全確保のため道路改良の予算の確保を

市道1024号線の県道栃木佐野線大皆川町交差点から東北自動車道ボックスまでの区間は、道幅が狭いことに加えて、大型車の通行も多くなっている。

この道路は、皆川城東小の通学路であるため、児童の登下校時における安全確保が喫緊の課題であり、一日でも早く道路改良工事を実施すべきものと考えるが、工事費の予算確保について伺う。

答弁 橋本都市建設部長

地元関係者との合意形成等を進め、早期の事業化に向けて取り組む

この路線は、県道栃木佐野線および栃木粕尾線をつなぐ重要な幹線道路であるため、県道栃木粕尾線吹上町

●令和6年度の予算編成
○主要地方道栃木佐野線の整備の進捗状況



交差点西側から宮町地内の交差点までの約1300mの区間を優先的に整備を実施し、令和5年6月に事業が完了したところである。

県道栃木佐野線大皆川町交差点から宮町地内の交差点までの未整備区間は、大型車両を含む交通量が多く、一部の区間が通学路であることから今年度内に改訂を予定している道路整備基本計画の重要整備路線に位置付けし、継続的に整備を進める予定となっている。

このようなことから、令和6年度は、質問の区間も含め、地元関係者との合意形成や道路計画の調査等を行い、早期の事業化に向けて取り組んでいきたい。



一般質問の詳しい内容はQRコードからアクセス



広瀬 義明 議員
自民未来

市民の生命・財産を守るため高機能資器材の導入を求める

常備消防の装備資器材に関しては、令和元年12月議会に一般質問しており、当時の消防長からは必要と思われる資器材について答弁があった。

それから4年間で経過し、火災、救急、救助の各分野で使用される資器材は日々高性能化が図られているものと想定され、市民の生命・財産を守るという常備消防の使命の完遂には、高機能資器材を導入し、万全な体制を整備することが是非に求められるものと思われるが、装備資器材の現状について伺う。

答弁 上岡消防長

現場の職員からの意見を取り入れ、新しい資器材の導入も検討したい

複雑・多様化する災害に的確に対

●栃木市常備消防
○恋人の聖地



応できるだけよう災害現場での消火活動や救助活動を効率的に行うための資器材や、隊員の身を守る装備については、安全に活動が行えるよう配備している。

また、現在配備されている資器材については、毎年の保守点検や整備を十分に行い、使用できる限り使用しつつ、現場の各小隊長級の職員から意見を取り入れ、新しい資器材の導入も検討していきたい。



災害現場などで使用する画像探索機



内海 まさかず 議員
創志会

市長には責任が伴うが、
判決に対する反省と謝罪は

今年10月18日に、サッカースタジアム住民訴訟控訴審判決があり、再び住民側の完全勝訴となった。

この判決を受けて市長個人の認識は、今でも市の判断は適正であったと考えているか。判決では、課税免除、使用料免除は違法であるとされ、違法行為を行ったことへの市民への謝罪はないのか。

また、市の弁護士費用はあまりに高額（550万円以上）であるが、必要額以上は市民の税金でなく、市長の自己負担で行うべきではないか。

答弁 大川市長

市民の皆様にご心配をおかけしたことについておわびを申し上げたい

このたびの東京高等裁判所の判決

- 技術系職員（土木・建設）の状況
- サッカースタジアム高裁判決をうけて
- 栃木市地区の高等学校再編



については、市として、真摯に受け止めなければならないと考えている。また、結果として、市が選択した支援策が裁判において認められなかったこと、市民の皆様にはご心配とご迷惑をおかけしたことについて心からおわび申し上げます。

弁護士費用の負担については、行政の長として、庁内において検討を重ね、議会にも説明した上で、地域活性化に資するものとして組織的に判断したことから、訴訟等での公金支出については、市として適正な手続きのもと支出されるものであり、個人として負担するものではないと考えている。

なお、市民の皆様に対しては、議員研究会で説明後、記者会見を開き謝罪させていただいている。

さらには、広報とちぎ1月号において記事を掲載する予定となっている。

一般質問の詳しい内容はQRコードからアクセス



針谷 正夫 議員
かかやき

皆でコグニサイズを実践して
認知症を防ごう

認知症は社会的課題であり、その予防の重要性は高いと考える。

本市の65歳以上の高齢者の認知症患者は、国が発表している推計を当てはめると、令和6年には約9400人、同22年には約1万人になり、約5人に1人が認知症と推計され、認知症は要支援・要介護に至る主な原因の一つのことである。

そこで、認知症予防のため、頭と体を同時に刺激できるコグニサイズの普及に取り組むべきではないか。

答弁 首長保健福祉部長

コグニサイズを取り入れた「あったかとちぎ体操」の普及・啓発に取り組む

運動と認知トレーニングを組み合わせたコグニサイズは、認知機能の

- 西方城跡国史跡指定を目指す
- 真名子ゴルフ場跡の環境の保全と施設の安全管理
- 認知症予防体操（コグニサイズ）の普及を



低下を抑制し、認知症予防に効果があるものと認識していることから、地域包括支援センターが実施する介護予防事業に既に積極的に取り入れられている。また、介護予防教室でも取り入れているほか、本市が考案した高齢者向け筋力体操「あったかとちぎ体操」では、6種類の筋力体操のほかに、5種類のコグニサイズを収録したDVDを平成30年度に作成し、はつらつセンターなどの高齢者の集いの場で活用いただくよう、普及に努めている。

なお、「あったかとちぎ体操」の効果を検証するため、年1回保健師等の専門職が、体力測定と主観的健康観の測定を行い、個人への助言、指導を実施している。

今後においても、引き続き認知症予防の観点からも、コグニサイズを取り入れた「あったかとちぎ体操」の普及・啓発に取り組む。



針谷 育造 議員
創志会

住民との対立を作った責任は市長にあり、市民にはない

高等裁判所の判決後、11月2日の議員研究会で市長から説明を受けた。「住民との対立を早く解消するために上告しない」とのことだが、原因をつくったのは市長である。

「住民との対立を早く解消する」という言葉の意味と日本理化学工業とのスタジアムの固定資産税、使用料の納付に向けた協議とは何を意味するのか。

また、今後の支援策等についても関係者と慎重に話し合いをするとはどういふことか。さらに、会社との「覚書」は当然無効になると考ええるが、今後について伺う。

答弁 大川市長

市民が一体となって応援する状況を早くつくっていきたい

●サッカースタジアム高
等裁判所判決
○株式会社観光農園いわ
ふね



11月1日の臨時庁議では、高裁判決を受け、市民への影響や住民訴訟であること等さまざまな協議がなされ、最終的に上告を断念することに決定した。

「住民との対立を早く解消する」の意味については、サッカーチームへの支援に関する意見の相違が長引くことは、好ましくないと申し上げたとおり、市民が一体となって応援する状況を早くつくっていききたいということである。

会社と固定資産税および使用料の納付に向けた協議については、裁判の結果について説明し、納付に向けた手続きを進めていくということである。

関係者と慎重に話し合いをするについては、サッカーチームに対する支援策を議会やサッカーチームに納得いただけるよう丁寧に協議を重ねていくという趣旨である。

覚書については、内容の見直しをしなければならぬと考えている。

一般質問の詳しい内容はQRコードからアクセス



小久保 かおる 議員
公明党議員会

带状疱疹ワクチン接種の助成制度を導入できないか

带状疱疹は、中高年に多く発症し、80歳までに3人に1人がかかるというデータが出ている。

近年では若い世代も含め発症者が増加しており、重症化したり後遺症が残ったりするケースもあるだけに市民からもワクチン接種への助成を求める声が上がっている。

ワクチン接種により带状疱疹を予防することは、医療費抑制にもつながるものと考ええるが、ワクチン接種助成制度の導入について市の考えを伺う。

答弁 首長保健福祉部長

4月から50歳以上を対象に助成することを考えている

带状疱疹ワクチンについては、高額であるため、重症化予防の観点か

●带状疱疹ワクチン接種への助成
○こども食堂
○公共施設の効果的な利活用



ら予防接種を希望する市民から助成を求める意見をいただいております。県内でも助成を行う市町が多くなっている。

本市においても、予防接種の重要性を考慮し、来年4月から50歳以上を対象に、水痘生ワクチン1回、または带状疱疹不活化ワクチン2回のいずれかを生涯一度限り助成することを考えている。助成額は、水痘生ワクチンの場合4千円、带状疱疹不活化ワクチンの場合1回当たり1万円の合計2万円を予定している。ワクチンを接種することで、より安心して健康な毎日を過ごすことができるかと考えている。





小太刀 孝之 議員
創政会

介護従事者の負担軽減と人材確保を

今後増加していくとみられる要介護者を支える介護従事者の人手不足への対応として、本市では人材不足解消に向けた栃木市生活サポート（あったかいこ員）養成講座研修を開催するなどの取り組みを展開してきました。さらなる介護従事者の負担軽減、人材の確保や業務効率化の観点からロボット機器等を活用した今後の介護のICT化全般の推進について、市の見解を伺う。

答弁 首長保健福祉部長

ICT導入支援・介護ロボット導入支援制度の普及促進に努めていく

国のICT導入報告書によると介護ソフトの導入により記録等の間接業務時間が削減され、直接介護等に

○学校教育のICT化
●介護のICT化

充てる時間の増加および職員間の情報共有が円滑になる等の効果、介助機器等の活用により介護職員の身体的負担の軽減や安定した動作による対応が可能となり、介護者ばかりでなく介護を受ける方も心身ストレスが軽減され、自らの活動意欲が増すなどの効果が報告されているが、ICTに要する費用が高額であるなどの課題もある。

省力化できる部分は大胆に改革し、そのゆとりを人でしかできない部分に充てる必要があるため、今後においても、介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化などを進めるため、県と連携しICT導入支援および介護ロボット導入支援制度の普及促進に努めていく。



一般質問の詳しい内容はQRコードからアクセス



雨宮 茂樹 議員
公明党議員会

子どもへのフッ化物塗布を再開する考えは

幼児期の歯の健康については保護者の関心も高く、虫歯のある3歳児の割合は年々減少している。

市では子どもたちの歯の健康のためにフッ化物の集団塗布を行ってきたが、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考慮し、現在は中断していると同っている。

永久歯への生え変わり時期のフッ化物の塗布も推奨されているが、今後の市の見解を伺う。

答弁 首長保健福祉部長

来年度から年長児を対象に来院型のフッ化物塗布事業を実施する

フッ化物塗布については、年長児や小学1年生を対象に体育館等で集団で行ってきたが、コロナ禍におけ

○高齢者の生活の足
○消防・救急
●アフターコロナの子どもの健康

る安全性を考慮し、令和2年度から中断している。

これまでの集団方式では、日程の都合がつかない等の理由から受診率が低下していたことや感染症予防の観点から事業の見直しが課題となっていたため、下都賀歯科医師会と協議を重ね、来年度から永久歯の生え始める年長児を対象に栃木県内で初めて歯科診療所への来院型のフッ化物塗布事業を実施する。

来院型でのフッ化物塗布は、集団感染のリスクをなくすとともに、受診日時の選択ができるなどのメリットがあるため、受診率向上も図れるものと考えている。





浅野 貴之 議員
かかやき

新年度予算の
目玉事業について伺う

令和6年度予算は、第2次栃木市総合計画がスタートして2年目となることにあわせて、市長の任期の折り返しを迎えることから、選挙公約である「とちぎ未来創生プロジェクトII」の実現も目指さなければなりません。

そこで、令和6年度予算では、市長の選挙公約がどのように反映されるのか、具体的な重点施策について伺う。

答弁 大川市長

誰もが幸せを実感できる
まちづくりを進めていく

マニフェストに掲げた10の約束を着実に進めることで、目指す「強く優しいまちづくり」が実現するもの

令和6年度予算編成方針



と考えており、災害に強いまちづくりを進めるために、雨水・浸水対策事業を実施している。また、安心して子どもを産み育てられるまちづくりを進めるために、妊娠出産包括支援事業などに取り組んでいるところである。

現在、実施を控えていた各種大型事業を開始しており、具体的な重点施策の事業や費用については今後決定するが、定住環境の整備、治水対策、地域経済の活性化、SDGs、脱炭素化やデジタル化の推進、乳幼児から高齢者まで誰もが幸せを実感できるまちづくりを進めていく。

令和6年度においても、昨年に引き続きいて大型予算になる見込みであるので、真に必要な事業に経営資源を集中し、効率的な行財政運営を推進していく。



一般質問の詳しい内容はQRコードからアクセス



青木 一男 議員
自民未来

不法投棄に対する監視体制の
強化等、対応策について伺う

市では不法投棄防止のために指導・啓発を行っている。また、早期発見や未然予防のために、監視パトロールの実施や監視カメラの設置も行っているが、新たな不法投棄が発覚するなど、撲滅には至っていない。

不法投棄の予防に対しては、発見時の初期対応が重要であり、不法投棄監視員の在り方や監視体制の強化が求められているが、その対応を伺う。

答弁 大豆生田生活環境部長

不法投棄の早期発見、
早期対応で未然防止に努めていく

本市では不法投棄の防止のための初期対応として不法投棄監視員を配置し、2人1組の3班集体で各地域を巡回し、不法投棄の監視を行う

不法投棄
空き家対策



いる。

不法投棄の回収件数は減少傾向にあるが、この状況を継続していくためには、不法投棄の早期発見、早期対応が重要であると認識しており、引き続き現行の監視体制を維持し、不法投棄を未然に防ぐよう努めていく。

また、不法投棄防止には、不法投棄は許さないという地域の目も重要であり、行為者を特定できれば、行為者に対し撤去するよう指導することも可能なため、不法投棄を目撃した際の通報等の協力について市民への広報にも努めていく。





白石 幹男 議員
無会派

第三者を入れて、しっかりと検証し、教訓を導き出せ

サッカースタジアム訴訟について、判決文では「判断の前提となつた事情に事実的基礎があり、その判断が社会通念に照らして合理性を有するものと直ちに認めることは困難」とし、「見込み等を慎重に考慮して免除を決定したのか不明」、「判断に至る過程が適切なものであったか判然としない」などと指摘している。

免除決定の過程において何が問題だったのか、第三者を入れてしっかりと検証し、教訓を導き出すべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 大川市長

判決で判断が示された市長の裁量の範囲について、既に内部で検証を開始している



岩舟総合運動公園にあるサッカースタジアム

今回の事案について、検証することは大切であると認識している。裁判においては、市長の裁量の範囲が争点となり、判決で判断が示されたが、事案の性質上、内部において検証することが十分可能であると考えていることから、既に検証を開始している。
なお、検証が済み次第、議員や市民に報告する。

●サッカースタジアム訴訟
○学校統合



一般質問の詳しい内容はQRコードからアクセス



市村 隆 議員
真政クラブ

市は財政改革を本気で行う覚悟がどれほどあるのか

大川市政も2期目の折り返しを過ぎた。市長には、市民に対して、具体的で分かりやすく、誰もがときめくようなメッセージを届けてほしい。それは市長の大切な責務のひとつである。

市は長期的な視野に立って、財政力指数を段階的に上げて健全な財政運営を行うべきであるが、栃木市の財政力指数が県内の市町中14番目であることをどのよう受けとめているのか。

答弁 大川市長

税収を増やすなど自主財源の確保に努めていく

財政力指数は、地方公共団体の財政力を示す指数で、普通交付税の算定で用いる基準財政収入額を基準財

政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値となる。

総務省が公表している財政力指数の推移をみると、市町村の全国平均は、令和元年度と令和2年度が0.51、令和3年度が0.50となっている。本市の財政力指数については、令和5年度が0.698となっており、県内25市町の中では12番目、令和5年単年度の財政力指数は0.707で、14番目となる。

財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえることから、財政力を上げることが必要であると認識しており、健全な財政運営を行えるよう、税収を増やすなど自主財源の確保に努めていく。



●産業振興
○公共交通
●財政





氏家 晃 議員

自民未来

都賀地域初の産業団地として
雇用の創出を！

平川産業団地整備事業の計画地区は、4車線化が進む都市計画道路小山栃木都賀線沿線の非常にポテンシャルの高い地区である。

この産業団地の整備計画は、地区内の既存住宅の住環境を保全しつつ、良好な操業環境を備えた産業用地を整備するものであり、本市の課題である定住人口の維持および雇用の創出を図ることができるものとして、また、都賀地域にとっては初めて整備される産業団地として大いに期待している。

今後の事業の進め方について伺う。

答弁 橋本都市建設部長

可能な限り早期に
整備を完了し、
企業の誘致に努めたい

○栃木市立小中学校適正
配置基本構想
●平川産業団地



今後は、地区内の住宅や事業所等の物件移転を進めるとともに、令和9年度まで区画道路や調整池など公共施設の整備を行い、令和10年度に換地処分および登記を行う予定であるが、できる限り早期の完了を目指して取り組んでいきたい。

また、分譲の時期は、令和11年度から予定をしているが、企業からの問い合わせが多数寄せられており、近隣市町の産業団地の開発も進んでいることから、可能な限り時期を早め、企業の誘致に努めていきたい。



一般質問の詳しい内容はQRコードからアクセス



小平 啓佑 議員

自民未来

こどもまんなか社会の実現に
向けての取り組み

栃木市版の「こどもまんなか社会」の実現に向けて、令和6年度に「こども家庭センター」の新設が予定されており、同センターは、複数の部や課にまたがる3つの係が統合され設置される。

そこで、組織変更に向けて、庁内タスクフォースでさまざまな議論が進められていると思うが、「こども家庭センター」の施策について、既存施策からの変更点や新しい施策への取り組みについて伺う。

答弁 小川こども未来部長

これまでの事業をブラッシュアップし、切れ目のない支援を行いたい

各課が行ってきた施策は、今後、これまでどおり継続、または拡充し

○栃木市のスポーツ振興と
サッカースタジアム訴訟
●こども家庭センター及び
こどもサポートセンター



していくことで調整を進めており、同センターの設置目的は、全ての妊産婦、こども、子育て家庭の包括的な相談支援の強化であるので、こどもなんでも相談窓口の設置および3係が1つになることにより、妊娠前からこどもが自立するまでの相談に、切れ目なく対応できるようにしていく。

新しい施策については、これまでの母子保健や児童福祉で担ってきた事業を一つ一つブラッシュアップし、妊娠前の段階から心身の健康づくりの支援およびこどもの育ちの支援まで切れ目なくつながるよう充実させていきたい。



この機会を
最大のPRチャンスと
期待している

【答弁】 石川地域振興部長

2025年のNHK大河ドラマが「べらぼう〜篤重栄華乃夢噺（つたじゆうえいがのゆめばなし）」に決定した。
主人公の蔦屋重三郎（つたやじゆうざぶろう）は、版元であり、歌麿や写楽、北斎を見出した「江戸のメディア王」と言われ、栃木市にゆかりのある浮世絵師 喜多川歌麿と密接な関わりがあったとのことである。
喜多川歌麿に力を入れている栃木市にとって、この大河ドラマの放映は観光振興の大チャンスと考えるが、見解を伺う。

NHK大河ドラマに合わせ、
栃木市のPRを進めよう！



大浦 兼政 議員
自民未来

●必要だよな!?文化・芸術を活かしたまちづくりって!!
○教えて!旧栃木警察署跡地の今後の方針



本年4月、2025年の大河ドラマの主人公が江戸時代の版元である蔦屋重三郎であると発表された。
蔦屋重三郎は、江戸のメディア王と称され、栃木市ゆかりの喜多川歌麿を見出した人物であり、歌麿もドラマの主要な登場人物として発表されている。
本市としては、歌麿ゆかりの地としてにぎわいの創出を図っていることから、この機会を最大のPRチャンスと期待している。
今後は、大河ドラマとコラボしたのぼり旗やパンフレットの作成、展示イベントの開催やお土産にドラマのロゴマークを使用することなど、NHKから情報収集しながら、具体的な取り組みを検討していく。



一般質問の詳しい内容はQRコードからアクセス

▶ 駐日ドイツ連邦共和国大使講演会

10月17日に、駐日ドイツ連邦共和国大使講演会が開催され、「ドイツと日本:良きパートナーとして」を演題に駐日ドイツ連邦共和国大使であるDr.クレーメンス・フォン・ゲッツェ氏にご講演いただきました。

大使からは日本とドイツの関係等についてご講演いただき、講演の中では「両国の関係はかつてないほど良好である。」とのお話がありました。

また、「留学の活発化など次世代の交流に期待する。ぜひドイツを訪れ、栃木とミュンヘンのビール祭り「オクトーバーフェスト」を比べてほしい。」とも述べられました。

講演後には、議員からの質問にもお答えいただき、大変貴重なお話を伺うことができました。



ドイツ大使に質問する議員



議場で講演するドイツ大使

▶ 12月定例会で扱った陳情（意見陳述）

- 陳情①** 健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付することを求める陳情書
- 陳情②** 国の2024年度介護保険制度改正にあたり現在審議会で進めている介護保険制度改正案の抜本的な見直しを求める意見書の提出を栃木市議会に要請する陳情
- 陳情③** 高齢者介護や障害福祉を支える職員の処遇改善のために、介護報酬と障害福祉サービス等報酬の引き上げを求める陳情

12月定例会に提出された3つの陳情は、民生常任委員会において審査を行いました。

委員会の審査では、陳情①については「個人情報が入力される等、さまざまな課題があり、陳情者の心情は理解できるが、行政手続きのデジタル化を推進する流れの中で、マイナ保険証の導入は必要である。」等の意見があり、不採択とすべきものとなりました。

陳情②については、「介護現場は疲弊しており、またサービス利用料を利用者の年金のみでは賅えず、家族が生活費から補填する状況は、まさに保険あって介護なしである。そうした状況を国に改善してもらうために、地方議会から声を上げることは重要である。」等の意見があり、全会一致で採択すべきものとなりました。

陳情③については、「介護、障害福祉施設で働く職員の地位向上には賛成であり、産業別に見ても著しく賃金が低い現在の状況は異常であると言わざるを得ない。普通に働けば普通に暮らせる社会は、労働者にとっても生活者にとっても大切であり、この業界の賃上げを目指す声をあげていくのは、大変重要である。」との意見があり、全会一致で採択すべきものとなりました。

また、定例会最終日の本会議においても陳情①については「不採択」、陳情②および陳情③については「採択」となりました。

※陳情の採決結果等については2・3ページをご覧ください。

審査にあたっては、陳情者からの意見聴取も行ったよ。



▶ 委員会活動報告（広報委員会）

広報委員会では、市民の皆さまにより分かりやすい広報紙をお届けするために紙面編集についての勉強会を12月1日に実施しました。勉強会では、他市の先進的な広報紙を参考とし今後の企画やページレイアウト等について話し合いました。

本ページでは、勉強会で委員が検討し、今号から変更となった点をご紹介します。

●QRコードのリンク先が変わりました。

これまで動画配信サイトのトップページにアクセスしていたリンク先が各議員の動画ページごとに変更になりました。

●あしがき執筆委員の写真を掲載しています。

議会だよりをさらに身近に感じていただくために執筆委員の顔写真を掲載することといたしました。（今号は雨宮委員長があしがきを担当しています。）



このほか、今期の広報委員会ではオンライン会議の試験的实施等にも積極的に取り組んでまいりました。

より多くの市民の皆さまにご愛読いただけるようこれからも委員一同取り組んでまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

▶ 議会報告会（意見交換会）

本年度は議会報告会（意見交換会）を11月に実施しました。

議会報告は書面や動画等のさまざまな方法により発信し、市民の皆さまからアンケート等によりご意見を伺いました。また、意見交換会は「人口減少社会におけるまちづくり」をテーマに、未来の栃木市を支えていく若者世代の意見を聞くため、高校生を対象に開催しました。

今号では、高校生との意見交換会の様子や高校生からいただいた意見の一部を紹介します。

高校生との意見交換会

●参加者

- ・市内各高等学校の生徒（栃木高等学校、栃木女子高等学校、栃木翔南高等学校、学悠館高等学校、栃木農業高等学校、栃木工業高等学校、栃木商業高等学校、國學院大學栃木高等学校）
- ※栃木翔南高等学校はインフルエンザの流行により中止
- ・栃木市議会全議員（4組の班を編成し、1班につき2校を訪問）



●テーマ

「人口が減っても住みやすいまちってどんなまち？～総合計画をつくってみよう～」

- ① 20年後の栃木市の将来像をふせん紙に思いつくかぎり記入していきます。
- ② ふせん紙を模造紙に整理し、将来都市像とまちづくりの基本方針を決めます。
- ③ 議員も交えて議論を行い、基本方針に沿った具体策を決めます。また、具体策は行政・市民それぞれの立場で何ができるかという視点を持って検討します。



高校生からの意見

みんなからの意見をまとめた提言書を市長に提出するよ。詳しくは、次号で紹介するね。

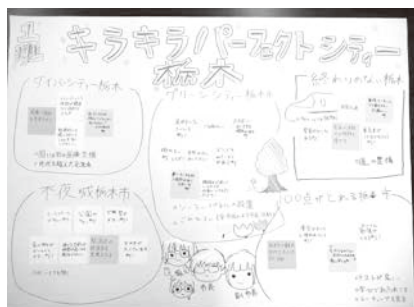


▶20年後の将来像

- ・子育てのしやすいまち
- ・障がい者にもやさしいまち
- ・老人の住みやすいまち
- ・国際交流ができるまち
- ・自然豊かなまち
- ・まちの美化
- ・働く場所が充実しているまち
- ・大きな商業施設があるまち
- ・やりたい仕事を選べる栃木市

▶基本方針に沿った具体策

- (行政) ・高齢者と若者の関わる場をつくる
- ・交流スペースの設置
- ・ピクトグラムを増やす
- (市民) ・関心を持つ ・偏見を持たない
- (行政) ・植樹 ・ごみ箱の設置 ・公園の整備
- (市民) ・募金 ・定期的なごみ拾い
- (行政) 空き店舗と新規事業者のマッチングをサポートする
- (市民) 市民もアイデアを出す



中学生議会の概要



中学生議員は、中学生議員バッジをつけて議会に臨みました。

12月23日に栃木県誕生150年を記念して栃木県議会発祥の地である栃木市において、中学生の自由な発想をまちづくりに活かすとともに、中学生が主体的に行政課題に関わる機会を創出し、主権者として社会に参画していく意欲の向上に寄与することを目的に中学生議会が開催されました。

市内の公立・私立中学校14校から各校1人の生徒が中学生議員として参加し、2回の勉強会を通して、議員のアドバイス等を受けながら、自ら一般質問を作成しました。

中学生議会当日も市長や部長等に対して、市の現状を質し、今後の市の施策を提案するなど中学生ならではの視点から一般質問を行いました。

中学生議会開催に向けて

中学生議会開催に向けて2回の勉強会（10月29日・12月16日）を開催し、中学生議員は市議会の役割や一般質問について説明を受け、議長の選出や登壇順の決定、発言通告書の作成など中学生議会開催に向けた準備を行いました。

勉強会には各会派から選出された市議会議員も参加し、一般質問の作成への助言など中学生議員のサポートを行いました。

また、中学生議員全員協議会を開催し、中学生議会宣言（案）を作成しました。



勉強会の様子

参加しての感想

議長を務めていただいた2人に感想を聞きました。

・大森 慶輝 議員（前半議長）

（一般質問を行った感想）本番前は緊張したが、本番では再質問もでき、良くできたのではないかと思います。無事に終わって安心しました。

・片柳 優衣 議員（後半議長）

（議長を務めた感想）普段使わない言い回しなどもあり、大変な部分もあったがサポートもあったため、楽しく取り組むことができました。

提案が実現します

インフルエンザワクチン接種への助成に関する質問を受けて、制度を拡充する方針が示されました。

（内容）市では現在、重症化しやすい生後6か月から小学2年生までを対象に行っている接種費用の一部助成を小学6年生まで拡大することを検討していたが、今回の提案を受け来年度から中学3年生までの助成を行うこととする。



中学生議会宣言

これからの栃木市をより住みやすいまちにするために自ら行動していく決意を中学生議会宣言としてまとめ、市長に手渡しました。



中学生議会の様子や中学生議会宣言の内容はインターネットでも確認できるよ。



中学生議会宣言を市長に手渡す名倉議員



中学生議会を開催しました



寺尾中学校 日里 優姫 議員

- ・現状の学区制のルールと学区の違う中学校に通う生徒について
- ・小規模特認校の積極的案内について



藤岡中学校 大槻 来夢 議員

- ・通学路の除草について
- ・歩道の整備状況と整備計画について



栃木西中学校 片柳 優衣 議員

- ・ゴミ処理場で発生する熱を利用した市民プールの建設について
- ・公園以外の安全なウォーキングコースの建設について



都賀中学校 田嶋 玲衣 議員

- ・熱中症を防ぐ取組について



西方中学校 和賀井 悠生 議員

- ・市内外の人が集まるための対策について
- ・運動公園を活用したマルシェ（小さな市場）の開催について



栃木東中学校 平野 雅大 議員

- ・ふれあいバスの通学利用を視野に入れた運行と後期高齢者利用無料化について
- ・蔵タクの利用方法について



東陽中学校 名倉 智也 議員

- ・伝統行事の課題について
- ・伝統行事の復興と市の関わりについて



大平南中学校 高窪 萌衣 議員

- ・ラーケーションの日の実施について
- ・オンライン授業の実施について



國學院大學栃木中学校
大森 慶輝 議員

- ・蔵の活用について
- ・新しく店を構える人への補助金について



皆川中学校 大竹 塔子 議員

- ・人口増減数の状況について
- ・人口を増やすための取組について



栃木南中学校 荒川 七海 議員

- ・図書館の学習スペースについて
- ・図書館の飲食スペースについて



吹上中学校 高久 実穂 議員

- ・スーパーの誘致について
- ・買い物弱者への対応について



岩舟中学校 中新井 美莉愛 議員

- ・インフルエンザによる学校閉鎖、学級閉鎖に対する市長の考えについて
- ・インフルエンザワクチンを無料にすることについて



大平中学校 上岡 南妃 議員

- ・タブレットの活用について
- ・社会に出たときに必要となる教育の導入について



モニターインタビュー No.34

議会だよりの紙面を充実させるため、アンケートにご協力をいただいている「議会広報紙モニター」にインタビューするコーナーです。(今回のインタビュアー：坂東委員)



議会広報紙モニター
坂東 美砂さん

Q：モニターをやってみて思ったことは

A：モニターになってからは、分からない言葉や単語など調べるようになりました。どんどんと興味が深まりました。

Q：議会のイメージは

A：最初は、難しく堅いイメージでした。
しかし、議会だよりを読んでいると、身近で起こっている問題であったり、知らなかったことなどとても勉強になりました。

Q：今後の栃木市に望むことは

A：子どもから大人(お年寄り)まで集える室内(雨の日)のスペースが欲しいです。
子育てのしやすい環境の創出、少子化でするので出産費用や不妊治療助成金の増額などをして欲しいです。

3月定例会の予定 (変更になる場合があります)

日	月	火	水	木	金	土
2/18	19	20	21	22	23	24
			新聞折込	本会議 議案等提案 予算特別委員会	天皇誕生日	
25	26	27	28	29	3/1	2
				本会議 『一般質問』		
3	4	5	6	7	8	9
			予算特別委員会 会派代表質問	常任委員会・予算特別委員会分科会 (総務)	(民生)	
10	11	12	13	14	15	16
		常任委員会・予算特別委員会分科会 (産業教育) (建設)				
17	18	19	20	21	22	23
			春分の日		予算特別委員会 分科会長報告	
24	25	26	27	28	29	30
			本会議 議案等採決			

日程と一般質問の内容は、確定次第、ホームページ等でお知らせするほか、2月21日(水)に新聞折り込みを予定しています。

また、一般質問の様子は、ケーブルテレビや市議会のホームページからもご覧いただけます。

ぜひ、ご覧ください。



栃木市
マスコットキャラクター
とち介

栃木市議会広報委員会

12月定例会では15人の議員が登壇し、来年度の予算編成や市政全般について一般質問を行いました。特集では議会報告会の一環として市内の高校を訪問して行った意見交換会の様子や、栃木県誕生150年記念事業として行った中学生議会の様子を掲載しております。

今後も開かれた議会活動を皆さまにお伝えできるように、見やすい紙面づくりを心掛けてまいります。2024年が皆さまにとって輝かしい一年となりまますよう、心からご祈念申し上げます。(雨宮 茂樹記)



委員長
副委員長

写真アドバイザー

- 委員長 雨宮 孝茂
- 副委員長 小太刀 俊孝
- 委員 川村 隆介
- 委員 市野 貴之
- 委員 浅野 啓敏
- 委員 小坂 一敏
- 委員 坂東 美砂
- 委員 内海 一夫
- 委員 青木 幹男
- 委員 白石 草

目の不自由な方のために、市内の朗読ボランティアが議会だよりの音声テープを作成しておりますので、ご入用の方はお気軽に議会事務局までお問い合わせください。(TEL: 0282-21-2505)